

「地盤工学分野における ICT 活用促進に関する研究委員会」の委員公募

公益社団法人 地盤工学会関西支部

地盤工学会関西支部では、以下の趣旨に基づき委員の公募を行います。関連分野にご関心があり、委員会活動に意欲的に取り組んでいただける方のご応募をお待ちしています。

1. **委員会名称**：地盤工学分野における ICT 活用促進に関する研究委員会

2. **設立趣旨**：近年の ICT 技術の急速な発展・普及に伴い、建設分野においても ICT 活用の促進が活発化している。とりわけ、国土交通省が主導する i-Construction の始動後、急速に普及が進み、建設業界は ICT の導入・活用に沸き立っている。i-Construction では、3 次元データを使った各工程の基準やマニュアルが定められており、ICT 活用を受注の条件とする制度的な動機付けも相まって、工事実績は着実に増えてきている。一方で、工事を受注するための「データの 3 次元化」が目的化してしまっている現場も少なくなく、積極的に独自の技術開発を行う事業者との二極化が進みつつあるように思われる。期待の高まる ICT 活用の機運を、導入期から成長期、成長期から成熟期への発展させていくためには、自由な発想による多様な ICT 活用法の創出と、その実施がプロフィットとなるような仕組みづくりが重要である。地盤工学分野においても、先端的な技術開発は活発化してきているが、工種・工程が広範にわたり、かつ地域性や不確定性の高い自然材料を扱う難しさ故か、研究開発は各社各様に進められることが多く、同分野における新技術の動向や課題、展望を俯瞰して議論できるような場は限られている。本委員会では、産学官からなる横断的なメンバーを構成し、地盤工学分野における ICT 活用法の技術交流を行い、新たな技術の開発促進を図るとともに、それらを広く一般に普及させるための調査・研究を行う。

3. **活動内容**：「ICT、IoT、AI、CIM、3 次元測量技術」などをキーワードに、「土工および土工構造物」を研究対象とする。本委員会では、調査・設計から施工、維持管理までの情報を「つなぐ化」、「見える化」する土工 CIM (Construction Information Modelling/Management) の深化を共通のテーマに掲げ、以下の 3 部会を立ち上げて検討を行う。

- ・部会 1 調査・設計部会（キーワード：3 次元地質／地盤モデル、3 次元測量、3 次元設計）
- ・部会 2 施工部会（情報化施工、施工データ計測、品質・施工管理、安全管理）
- ・部会 3 点検・維持管理部会（変状抽出・点検、動態監視、健全度判定・劣化予測）

具体的な活動内容として、1)ICT 活用に関する技術動向調査・研究開発（部会活動）、2)ICT 技術を活用したモデル試験・現場試験（実証試験、一斉試験、比較試験等）の実施と評価、3) 講演会、見学会、情報交換会等の開催、シンポジウム等での研究成果の発信などを予定している。

4. **委員構成**：委員は原則として公募とする。委員長は、小林泰三（立命館大学）を予定している。

5. **活動期間**：3 年間を目途とする。

6. **申し込み方法**：参加希望の方は、令和元年 6 月 28 日（金）までに、1) 氏名、2) 所属と職名、3) 連絡先住所、4) 電話番号、Fax 番号、e-mail アドレス、5) 当委員会で取り組みたい事項の要約（A4 用紙 1 ページ以内、様式自由）を添えて、下記までお申し込みください。なお、産学官のバランスに配慮して委員を選定する場合がありますのでご了承ください。

問い合わせ・申し込み先：

公益社団法人 地盤工学会関西支部事務局

〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-5-7 ストークスビル天満橋 801

Tel: 06-6946-0393, Fax: 06-6946-0383, e-mail: office@jgskb.jp